

# 活動プログラム

団体名（岡山県青年団協議会）

## 1. 事業内容

- |   |
|---|
| <input type="checkbox"/> 子どもたちの生活習慣や学習習慣の確立に関する活動 |
| <input type="checkbox"/> 不登校（傾向）児童生徒対象の体験活動       |
| <input type="checkbox"/> 自然体験、生活体験、社会体験に関する活動     |
| <input type="checkbox"/> 家庭教育支援に関する活動             |
| <input checked="" type="checkbox"/> 地域課題の解決に関する活動 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材の育成に関する活動 |

※複数選択可

## 2. 活動プログラム名

「

岡山サミット

」

## 3. 目標（ねらい）

※プログラムを通して、参加者に身に付けさせたい力、はぐくみたい姿等  
他団体の事例発表から各地域で活動する青年それぞれが違った視点を身につけてもらう。  
また、様々なバックボーンを持つ参加者との交流を通して互いに応援しあえる関係性の構築を図る。これらを通じて得られるひらめきや個人の特性を各地域活動で活かそうとする主体性を育む。

## 4. 活動計画

※対象者の活動及び活動実施に向けた研修会等を記載してください。

| 回           | ★目標<br>・活動内容・対象・参加者人数・スタッフ人数・会場等   | ◆目指す参加者の姿<br>(評価方法)  |
|-------------|--|--|
| 第<br>1<br>回 | ★他団体の活動を知ることにより新たな視点を学ぶ。<br>・活動内容：事例発表、グループワーク<br>・対象：県内で地域活性化活動を行う青年<br>・参加人数：17名（スタッフ含む）<br>・会場：岡山県青年館大ホール | ◆他団体の活動を聞くことにより、自分自身の活動を進歩させる具体的方法を模索する。地域活性化においての考え方や懸念点を共有することで共感、発見が生まれ、切磋琢磨し合える関係性の構築を図る。<br>(事後アンケート) |

## 5. 展開

| 回<br>時<br>間  | 内 容  | 準備物                              | 留意点                                 | ◆目指す参加者<br>の姿<br>(評価方法)   |
|--------------|--|----------------------------------|-------------------------------------|---|
| 【第1回】<br>20分 | 【導入】<br>開会式、活動の流れ、ねらいの説明<br>アイスブレイク  | パワーポイント<br>名札                    |                                     |   |
| 15分<br>5分    | 【活動】<br>○活動発表①（学生団体）<br>岡山バトン<br>質疑応答  | ・発表資料<br>・スクリーン<br>・マイク<br>・筆記用具 | ・グループワーク<br>内容の説明スライドを作り、取り扱いやすくする。 | 他団体の活動を聞くことにより、自分自身の活動を進歩させる具体的方法を模索する。地域活性化においての考え方や懸念点を共有することで共感、発見が生まれ、切磋琢磨しあえる関係性の構築を図る。                  |
| 15分<br>5分    | ぼっけえまち会議<br>質疑応答   |                                  | 役員は写真などの記録だけでなく、進行にも気に掛ける。          |   |
| 15分<br>5分    | 岡山県青年団協議会<br>質疑応答  |                                  | 司会は雰囲気づくり                           |   |
| 30分          | ○グループワーク①<br>「活動のきっかけは？」<br><br>①あなたが人や町のために何かしたいと思ったタイミングはいつ、どんな時ですか？<br>②現在所属している団体に入る決め手は何ですか？<br>(所属している方)<br>この事業に参加する決め手はなんですか？（所属していない方）<br>③あなたが所属団体の代表になったとしたら、興味があるけど何かしたい人を見つけるためにどのような行動をしますか？ |                                  |                                     | 学生団体の発表を聞いて、初心を思い出し、何に興味をもって活動を始めたか？<br>どうしたら若者に興味を持ってもらえるか？を話し合うことで様々な活動、年代の視点から多様なアプローチ方法、活動方法を学ぶ。（事後アンケート） |
| 60分          | 昼食・休憩  |                                  |                                     |   |

|     |   |                                  |   |  |
|-----|---|----------------------------------|---|--|
| 15分 | 【活動】<br>○活動発表②（社会人団体）<br>岡山市青年協議会<br>質疑応答                                     | ・発表資料<br>・スクリーン<br>・マイク<br>・筆記用具 | ・グループワーク内容の説明スライドを作り、取り掛かりやすくする。<br>役員は写真などの記録だけでなく、進行にも気に掛ける。<br>司会は雰囲気づくり | 社会人の発表を聞き、大人になっても活動の場所があると知ってもらい、仕事との両立するための考え方を学び、卒業後も継続して活動できる過ごし方を学ぶ（事後アンケート） |
| 15分 | 3 S T E P S<br>質疑応答   |                                  |   |  |
| 15分 | せとうち旅物語/合同会社<br>USHIMAROBI<br>質疑応答  |                                  |   |  |
| 5分  |   |                                  |   |  |
| 30分 | ○グループワーク②<br>「活動の継続」<br>①何歳くらいまで活動していきたいと思うか。<br>②「仕事、学業」と「活動」を両立するために必要な条件は？ |                                  |   |  |
| 20分 | 【振り返り】<br>1日を過ごして得たものなどで今年の目標、5年後の目標を設定する。<br>グループ内で共有する。                     | ワークシート                           |   | 目標を共有することで参加者一人一人が目指すところを改めて見つめなおすとともに、他団体の事業終了後の活動に興味を持ち、繋がろうと行動する（事後アンケート）     |